

伊東市立学校・園の適正規模及び配置に関する建議書（案）  
前回（第4回）会議資料との変更点

	該当ページ (変更理由)	前回案	今回案
1	はじめに (建議書に市立幼稚園・保育園編を追加したことによるもの)	<p>全国的な少子化によって児童生徒数は減少の一途を辿っており、特に本市の小学校では、1学年1学級という単学級を有する学校が既に全体の半数近くを占める状況となっており、今後ますます学校における教育や生活、さらには学校運営など様々な面に影響を及ぼすことが懸念されています。</p> <hr/> <hr/> <hr/> <p>このような状況において、本委員会では子どもたちの教育機会の均等と教育水準の維持向上を図るため、効果的でより良い教育が受けられるような教育環境の適正規模・配置について検討いたしました。</p>	<p>全国的な少子化によって児童生徒数は減少の一途を辿っており、特に本市の小学校では、1学年1学級という単学級を有する学校が既に全体の半数近くを占める状況となっており、今後ますます学校における教育や生活、さらには学校運営など様々な面に影響を及ぼすことが懸念されています。</p> <p><u>また、本市では保育園の利用率が高まる一方で、市立幼稚園は小規模園が増えている状況ですが、この傾向は、国の新たな取組「子ども・子育て支援制度」が始まったこと等により、今後ますます顕著に表れていくことが予想されます。</u></p> <p>このような状況において、本委員会では子どもたちの教育機会の均等と教育水準の維持向上を図るため、効果的でより良い教育が受けられるような教育環境の適正規模・配置について検討いたしました。</p>
2	はじめに (同上)	<p>本委員会では、地域により様々な事情を抱える中、将来的に子どもたちが_____楽しく勉強でき、____学校に毎日行きたくなるようなより良い環境を伊東市全体で目指すことが必要であると考え、ここに建議するものです。</p> <p>この建議に示す様々な課題を地域の方々、保護者、____学校関係者との協働で乗り越え、具現化し推進されることを期待いたします。</p>	<p>本委員会では、地域により様々な事情を抱える中、将来的に子どもたちが<u>楽しく過ごし</u>、楽しく勉強でき、<u>園・学校</u>に毎日行きたくなるようなより良い環境を伊東市全体で目指すことが必要であると考え、ここに建議するものです。</p> <p>この建議に示す様々な課題を地域の方々、保護者、<u>園・学校</u>関係者との協働で乗り越え、具現化し推進されることを期待いたします。</p>
3	7ページ エ 課題解消に向けた提案 (第4回会議での意見反映)	<p>・学区の見直しは必要だとは思いますが、学区選択制を導入すると仲の良い友達同士が固まるようなことになって元の学区が無視されてしまう心配もある。</p> <hr/> <hr/>	<p>・学区の見直しは必要だとは思いますが、学区選択制を導入すると仲の良い友達同士が固まるようなことになって元の学区が無視されてしまう心配もある。</p> <p><u>・学区の見直しや統合によって通学距離が延長される場合は、送迎システムを充実させるとか、他の社会資源を有効活用するなどの配慮が必要である。</u></p>
4	7ページ 3. 今後の学校規模・配置の適正化に向けて (第4回会議での意見反映)	<p>アンケートの調査結果では、学級数の少ない学校が増えたとしても「現状のままでよい」「学区は見直すが統合は行わない」という声と、「統合する」「学区を見直した上で必要なら統合」という声が半々の状況であったかもしれませんが、アンケートを書いた方は現状に対して答えていますので、10年後、20年後の本市の状況を踏まえると、もっと具体的な統廃合の検討について、今から手を打っていかねば遅いものと考えます。_____</p> <hr/> <hr/>	<p>アンケートの調査結果では、学級数の少ない学校が増えたとしても「現状のままでよい」「学区は見直すが統合は行わない」という声と、「統合する」「学区を見直した上で必要なら統合」という声が半々の状況であったかもしれませんが、アンケートを書いた方は現状に対して答えていますので、10年後、20年後の本市の状況を踏まえると、もっと具体的な統廃合の検討について、今から手を打っていかねば遅いものと考えます。<u>検討に当たっては、速やかに対応すべき学校と、10年、20年先を見据えて対応すべき学校を整理し、段階的に対応していく考えも必要だと考えます。</u></p>
5	8～10ページ II 市立幼稚園・保育園編	記載なし	<u>追加</u>